

科 目 名

公衆衛生学 Public health

4年 前期 1単位 選択

山口 忠 敏

概 要

人の健康は、生体内における生理状態（内部環境の恒常性の維持）によって保たれている。しかし、その生体を取り囲む環境（外部環境）からの様々な侵襲要因によって、生理状態はたえず影響される。その侵襲要因に対して、恒常性の維持が出来なくなったとき、健康は破綻して疾病へと転化する。その健康へ影響する要因を知り、それからの防御の知識と技術を習得する。

授業計画

総論 1. 公衆衛生学とは？ C11-(2)(3)

総論 2. 健康の概念。健康と環境の関わり。C11-(3)-1,2

総論 3. 健康に影響する三つの因子（1. 主体因子、2. 因子=侵襲要因、3. 環境因子）の相互作用について。

医学生態学的な考え方を基盤にして、各要因の具体例を挙げながら講義を進める。講義の過程で、そのときの世間で話題になった問題を逐次挿入する（環境ホルモン、狂牛病、SARS, etc）

各論 1. 疾病の予防（第一、二、三次予防）について C11-(3)-2-1,2

各論 2. 保健統計 C11-(2)-1-1~5

各論 3. 健康と疾病をめぐる日本の現状 C11-(2)-2-1~3

各論 4. 疫学の方法 C11-(2)-3-1~7

各論 5. 感染症について C11-(3)-3-1~6

各論 6. 生活習慣病について C11-(3)-4-1~3

その他. 随時、人の健康に関するニュースについて衛生化学的な面からの解説 大学独自

評価方法

期末試験および出欠のチェックをかねた小試験、課題についてのレポート提出等の総合で評価する。

教 材

教科書：衛生薬学—健康と環境—（廣川書店 新井洋由、早川和一 編）

参考書：国民衛生の動向（廣濟堂 厚生統計協会 編）

履修上の注意

世間における人の健康に関する諸問題について、問題解決の意識を持って理解するように努める。